

1 単位時間指導事例

3 わたしたちの暮らしと商店街

- 1 単元名(小単元名)「人びとのしごととわたしたちの暮らし(スーパーマーケットではたらく人)」
- 2 単元の目標
 - ・身近な地域では,人々が販売に関する仕事をしていて,わたしたちの生活を支えていることが分かる。
 - ・身近な販売活動の実際について,観察・調査したり,表現したりすることを通して,仕事の特色や他地域との関わり,販売に携わる人々の工夫を具体的に考える。
- 3 本時の指導
 - (1) 題材名 「しなものはどこから」
 - (2) 本時の目標
 - ・自分たちが食べている野菜や果物は,広く国内の他地域や外国からも送られていることに気付く。

段階	主な学習活動	指導上の留意点 副読本の活用例	副読本 ページ
つかむ	1 見学したスーパーマーケットで,どんな野菜や果物が売られていたか想起させる。 2 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">野菜や果物はどこから運ばれてくるのでしょうか。</div>	見学したスーパーマーケットの野菜や果物コーナーを写真でとっておくなど,売り場を想起できるようにする。見学できない場合には,行った経験から想起して発表させる。 ラベルなどを提示し,野菜や果物がどこから運ばれてくるか課題をつかませる。 副読本の地図と写真を見ながら,石巻にはどこから運ばれてくるか参考にする。	P 3 5
調べる	3 野菜や果物の生産地を分類する。 ・野菜や果物の生産地を学習プリントに書く。 ・生産地を地図に表す。 4 分類した生産地を地図上で確認する。	自分たちが家から持ってきた野菜や果物の箱やシール,広告,見学メモなどを参考にしながら,生産地をグループ毎に確認しながら,学習プリントに書く。下記の例を参考にあらかじめ調べさせておくことよい。 ・箱やシール,包装紙,広告から ・給食室の段ボール箱,調理師さんにインタビューをする ・近くのスーパーマーケットなどに連絡をとる 石巻青果に品物が集まることをとらえさせ,疑問点等があれば直接尋ねてみるよう助言する。 グループ毎に分類した結果を発表させる。他地域とのつながりをとらえさせるには,野菜・果物の順に発表させる。	P 3 5
まとめる	5 生産地から,気付いたことを発表する。 ・どの地域から運ばれているか ・何で運ばれているか ・生産地を表示することの意義 6 本時の学習を振り返り,分かったことを書く。	品物によって分けたり,日本と外国とに分けたりしながら,自分たちの地域と他地域とのつながりについて気付くようにする。 本時の学習を振り返らせるとともに,次時への意欲をもたせる。	